

2025年10月31日
上場会社名 日本鑄造株式会社
代 表 者 代表取締役社長 佐竹 義宏
(J-ド`番号 5609)

大型クラスのパウダーベッド式金属 3D プリンターの導入

日本鑄造株式会社（本社：神奈川県川崎市）は、2026年4月に Xi'an Bright Laser Technologies Co.,Ltd.（本社：中国陝西省西安市、以下「BLT」）製パウダーベッド式金属 3D プリンター-BLT-S450（8本レーザー）を、オリックス・レンテック株式会社（本社：東京都品川区）を通じて、導入いたします。

本装置は、安定稼働しているパウダーベッド式金属 3Dプリンターとして、大型クラスの造形サイズと造形速度となります。

当社において造形サイズは、現状所有している「260 mm x260 mm x290mm」から「450mm×450mm×500mm」となり造形体積は5倍以上に増加し、レーザー本数も従来の1本から8本に増加し、大型高速造形が可能となります。

現在、半導体製造装置の主流は、12インチ（約304.8mmφ）シリコンウエハー対応の装置であり、当社内の「260 mm x260 mm x290mm」の金属 3Dプリンターでは製造困難でしたが、本装置の導入により対応可能な造形サイズとなります。さらに、8本レーザーによる造形速度の向上により、金属 3Dプリンター製品のコスト削減と納期短縮を期待しております。

当社では、現在、従来の鑄造品に金属 3Dプリンター品を一部活用したハイブリッド品の製造にも取り組んでおり、今後は、さらなる大型の金属 3Dプリンターの導入を検討してまいります。これにより、少子高齢化による熟練技能者の不足や社会のデジタル化への対応を加速させてまいります。

当社は、今後も、新たな技術開発と需要の開拓を図り、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

日本鑄造株式会社 企画管理部 TEL 070 (3269) 9705



図1 今回導入する大型金属 3D プリンター (BLT-S450) の外観

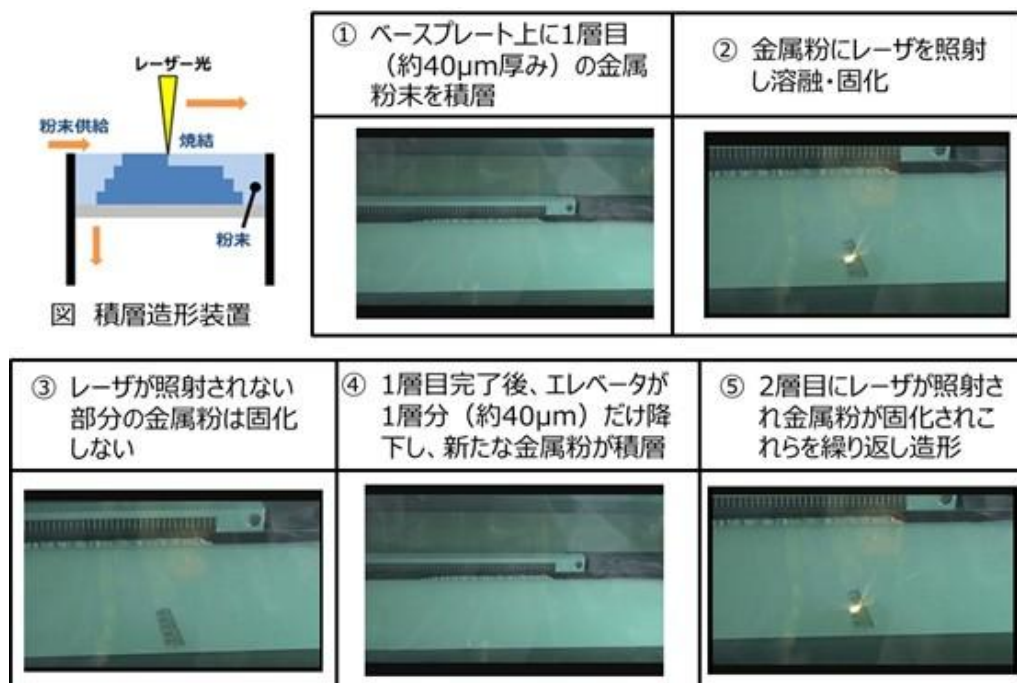


図2 パウダーベッド式 3D プリンターによる造形順序の模式図